



Guest  
丸田 悠太

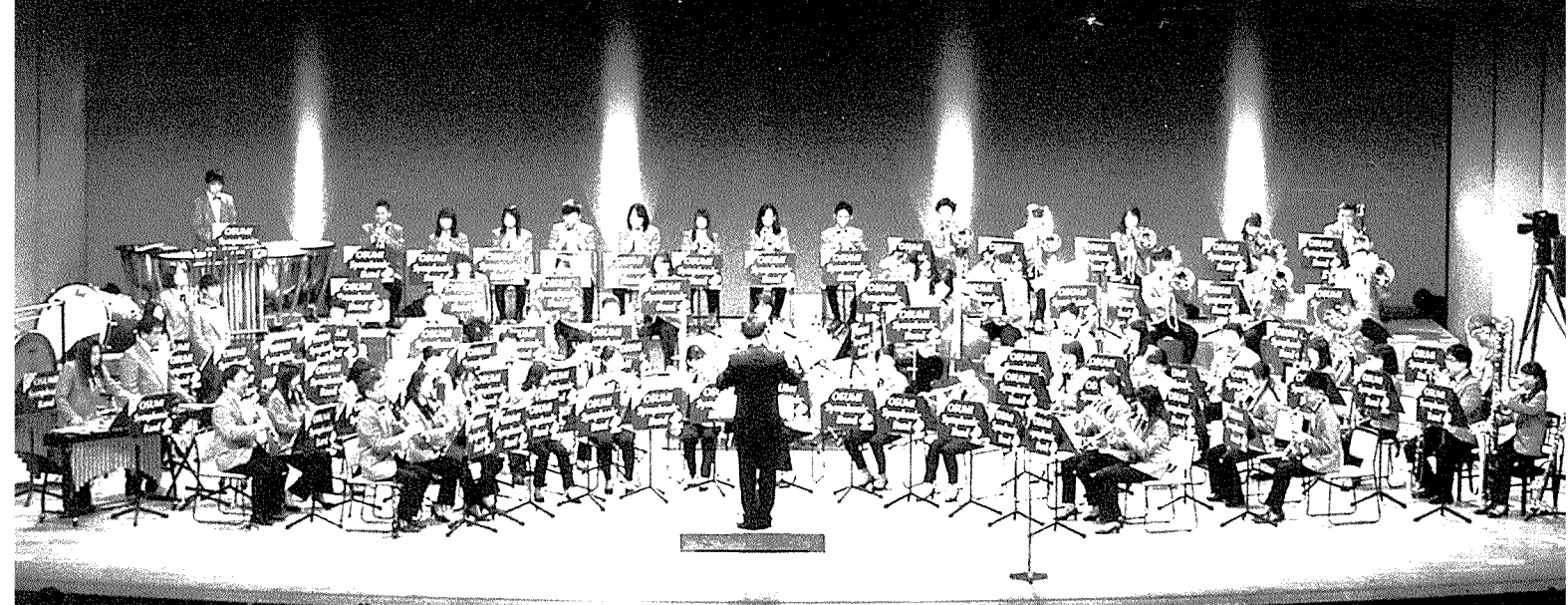
東京佼成ウインドオーケストラ  
フルート・ピッコロ奏者



# 大住シンフォニックバンド 第28回定期演奏会

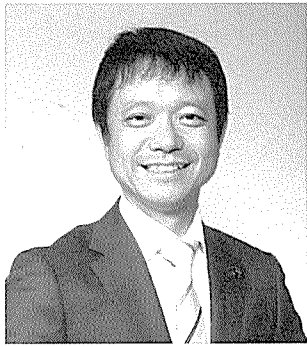
2021年4月25日(日) 13時開場/14時開演

八幡市文化センター 大ホール



# GREETINGS -ごあいさつ-

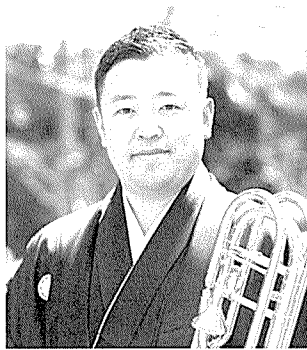
お祝いのことば 京田辺市長 上村 崇



大住シンフォニックバンド第28回定期演奏会の開催、誠におめでとうございます。音楽を通じてより良い人間関係を形成することを目指し、吹奏楽による地域に根差した活動で本市の文化振興にも多大なご貢献をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今回は新型コロナウイルス感染症の影響により二年ぶりの定期演奏会となり、東京佼成ウインドオーケストラ所属のフルート・ピッコロ奏者であられる丸田悠太氏を迎えられてのステージということで、新たなハーモニーを大いに期待しております。また本市では、潤いのある市民文化の創造を推進してまいりたいと考えておりますので、これからもご協力賜りますようお願いいたします。

出演される皆様には、日ごろの練習の成果を十分に発揮していただき、素晴らしい演奏会となりますよう心からご期待申し上げますと共に、貴団のますますのご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



団長 野島 健司

本日はお忙しい中ご来場いただき、ありがとうございます。未だ新型コロナウイルスの影響が続く中ではございますが、応援いただく皆様のおかげを持ちまして今日この日を迎えることができました。

2020年は定期演奏会や吹奏楽コンクールをはじめ、ほぼ全ての演奏機会がなくなり楽団の活動自体も長期間休止いたしました。活動の再開にあたり、「自分たちは何のために吹奏楽をしているのか?」「楽団とは何か?」という事から団員皆で考え直しました。この経験は、楽団として大きな財産となりました。

本日は感染対策のため、例年より縮小したプログラムではございますが、皆様に生の演奏を楽しんでいただければ幸いです。

最後に、演奏会に花を添えていただく丸田悠太さん、文字祐子さん、応援してくださっている京田辺市の皆様、八幡市文化センターの皆様をはじめ、ご関係いただいた全ての方々に御礼申し上げます。

## 大住シンフォニックバンドを支えていただいている方々

### ご協力いただいている方々

上村 崇(京田辺市長)

山岡 弘高(京田辺市教育委員会教育長)

潮 義行(京田辺市文化協会会長)

山際 雅詩(京田辺音楽連盟会長)

### 日頃よりお世話になっている施設

京田辺市立北部住民センター

京田辺市立中部住民センター

京田辺市立中央公民館

(順不同・敬称略)

入団、見学については、大住シンフォニックバンド公式HPのお問い合わせフォームにてご連絡ください。練習の様子もHPのブログで更新中です。

<https://osumi-symphonic.com>

# Program

指揮:尾崎 雅規

コンサート・マーチ「ストレート・ロード」 (3'20")

作曲/真島 俊夫

コーラル・ブルー

～沖縄民謡「谷茶前」の主題による交響的印象～ (4'30")

作曲/真島 俊夫

富士山 ～北斎の版画に触発されて～ (9'50")

作曲/真島 俊夫

フルートと管弦楽のためのコンチェルティーノ op.107 (8'10")

作曲/C.Chaminade 編曲/酒井 格

チゴイネルワイゼン (9'20")

作曲/P.Sarasate 編曲/伊藤 康英

君の瞳に恋してる ～フルートとバンドのための～ (6'00")

作曲/B.Crewe&B.Gaudio 編曲/真島 俊夫



# PROGRAM NOTES -楽曲紹介-

## コンサート・マーチ「ストレート・ロード」

作曲/真島 俊夫

1993年に発売された「新・吹奏楽指導全集」に添付されていた1曲。一度は絶版となりましたが2002年にはオーケストレーションに手が加えられた改訂版が販売されました。

現在では様々な場面で演奏される機会も多くなっており、日本を代表するマーチとも言えるでしょう。また、この曲はテンポが早いことも特徴的です。一般的なマーチのテンポは132～138あたりが多いですが、この曲の場合は142とマーチの中でも早いテンポ設定となっています。スピード感のあるコンサート・マーチで、明るく爽やかな印象の曲となっています。第28回定期演奏会のオープニングにぴったりな1曲をお楽しみください。

## コーラル・ブルー～沖縄民謡「谷茶前」の主題による交響的印象～ 作曲/真島 俊夫

1991年全日本吹奏楽コンクールの課題曲Bとして発表された「コーラル・ブルー」。真島俊夫氏による作曲で課題曲として採用されたのは「吹奏楽のための交響詩 "波の見える風景"」に続く2作目となります。

主題に用いられている"谷茶前(谷茶前節)"とは、沖縄県西海岸に位置する恩納村谷茶地区に伝わる民謡です。歌詞には、谷茶前の浜に押し寄せてきたイワシを男たちが捕り、女たちが売り歩くとといった沖縄の農漁村の風景が表現されています。

沖縄の青く美しい海を連想させるベルトーンから始まり、ゆったりと谷茶前のテーマが奏でられます。不規則に3/4拍子が織り混ぜられる谷茶前節のリズムや、特徴的な琉球音階による美しく新鮮なメロディーが聴きどころです。ゆったりとした時間が流れる沖縄の浜辺を想像しつつ、時間の経過に伴い移り変わる曲想をお楽しみください。

## 富士山～北斎の版画に触発されて～

作曲/真島 俊夫

この曲は相模原市民吹奏楽団の委嘱作品として作曲されました。曲中では真島俊夫氏の作曲手法である「日本の旋法と西欧のハーモニーの融合」が用いられています。古来から信仰の対象であり、日本のシンボルであった富士山を題材としており、その雄大さが曲調によって表現されています。中間部の美しい旋律と、迫力あるクライマックスからは多彩な表情をもつ富士山の姿が想像できます。

副題である「北斎の版画に触発されて」は、フランスの作曲家ドビュッシーが葛飾北斎の浮世絵「富嶽三十六景」にインスピレーションを得て、交響詩「海」を作曲したと言われていることに基づき、彼もフランスの芸術家たちに倣い「富嶽三十六景」を見ながらインスピレーションをかき立て、作曲したと言われています。

## フルートと管弦楽のためのコンチェルティーノ op.107

作曲/C.Chaminade 編曲/酒井 格

19世紀末～20世紀初頭、激動の時代に活躍したセシル・シャミナード。彼女は出版作品と演奏活動によって経済的に自立した最初の女性作曲家といわれています。パリの上流階級家庭に生まれた彼女は幼くしてピアノと作曲を始め、かのビゼーにもその才能を認められたという逸話が残っています。「売れっ子作曲家」として広く認知される様になると、その活躍はフランス国内に留まらず、イギリスではヴィクトリア女王への御前演奏、アメリカやトルコ(オスマン帝国)への演奏旅行など、まさに華々しいという言葉どおりのものでした。当時、彼女の名を冠した石鹸が発売された事から、どれ程の人気があったかが窺えます。

「コンチェルティーノ」は1902年にパリ国立高等音楽院のコンクール課題曲として委嘱された作品で、フルートを志す人は必ず一度は演奏すると言っても良いほどのスタンダードな楽曲です。シャミナードらしい、耳馴染みの良い美しいメロディが特徴のこの楽曲を、丸田氏がどう歌い上げるのか。どうぞお楽しみに。

## チゴイネルワイゼン

作曲/P.Sarasate 編曲/伊藤 康英

1878年、世界三大ヴァイオリニストの1人とも言われるパブロ・デ・サラサーテによって作曲され、華麗な超絶技巧で知られる名曲となりました。現在ではスケートの羽生結弦選手が演技に使用したほか、さまざまな場面のBGM、ドラマの挿入曲として扱われているため聞き覚えのある方も多いかと思えます。オリジナルはヴァイオリンと管弦楽のために書かれており、またヴァイオリンとピアノという組み合わせでも広く演奏されています。

本来は弦楽器でさえ演奏するのは難しいとされる超絶技巧を、本日はピッコロと吹奏楽でお届けします。管弦楽とは違った吹奏楽の迫力やピッコロ・ソロの超絶技巧、華麗な音色に注目しながらお楽しみください。

## 君の瞳に恋してる～フルートとバンドのための～

作曲/B.crewe&B.Gaudio 編曲/真島 俊夫

人々の心を明るくする素敵な曲「君の瞳に恋してる」。そこにはこんな悲しい出来事がありました。

アメリカのニュージャージーで誕生した4人グループ「ザ・フォー・シーズンズ」がスターになった頃、リード・シンガーのフランキー・ヴァリの家庭は崩壊寸前でした。妻は酒に溺れ娘は家出して、ヴァリは必死に娘を探しました。見つけた娘を自宅に戻させますが、その後すぐに薬物中毒で亡くなってしまいました。ヴァリは後悔してもどうすることも出来ない苦しみと喪失感から歌う気力さえ無くなりました。

そんな彼に何とか立ち直って欲しい一心でグループの一人ボブが曲を書き、ヴァリの心に再び火を灯しました。You're just too good to be true(君があまりに愛おしすぎて) Can't take my eyes off you(目が離せないよ) そう、愛しい恋人に捧げる曲ではなく、娘を思う気持ちに溢れた曲なのです。この悲しい出来事が、世界中の人々の心に語りかける優しい愛の歌を生み出しました。

# PROFILES -プロフィール-

## GUEST



### 丸田 悠太 (東京佼成ウインドオーケストラ フルート・ピッコロ奏者)

新潟県新潟市出身1982年生まれ。2004年国立音楽大学器楽科を首席で卒業、矢田部賞受賞。2006年国立音楽大学大学院修士課程修了、ならびに研究奨学金授与。

フルートを榎本正一、浅利守宏、大友太郎、佐久間由美子の各氏に師事。宮内庁桃華楽堂新人演奏会において皇后陛下の御前にて演奏。読売新人演奏会、ヤマハ管楽器新人演奏会、フルートデビューリサイタル出演。第7回JILA音楽コンクール 管打楽器部門第2位。第15回ヤング・プラハ国際音楽祭にソリストとして出演。また東京・新潟をはじめ、各地で行われるソロリサイタルは好評を得ている。2018年には東京佼成ウインドオーケストラとL.リーバerman作曲(編曲:黒川圭一)「ピッコロ協奏曲」吹奏楽版を世界初演。

ソロ、室内楽、オーケストラ、レコーディング、トレーナー、審査員など様々な活動を展開。

東京ニューシティ管弦楽団を経て現在、東京佼成ウインドオーケストラ フルート・ピッコロ奏者。風の五重奏団、東京ELEMENTS、デュオ・まるみや、各メンバー。昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、国立音楽大学、各非常勤講師。2017年2月に1stアルバム「丸田悠太 フルート・ピッコロ リサイタル」をリリース、好評発売中。

公式ブログ“笛吹き”の雑記帳” [http://blog.livedoor.jp/fuefuki\\_yuta/](http://blog.livedoor.jp/fuefuki_yuta/)

## 大住シンフォニックバンド

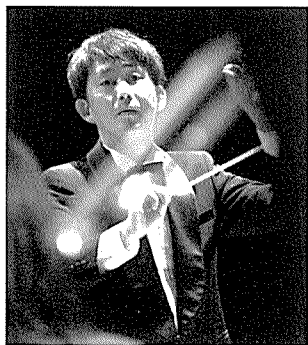
大住シンフォニックバンドは、田辺町立(現:京田辺市立)大住中学校吹奏楽部OB吹奏楽団として1989年より活動を開始。翌年1990年に大住シンフォニックバンドへ正式名称を改めOBバンドから市民吹奏楽団に生まれ変わる。活動拠点である京田辺市の地域活動に参加し、音楽を通じてよりよい人間関係を形成することを目指している。

吹奏楽コンクールにおいては、故・尾崎義典先生の指揮・指導により、1992年に初出場で京都府大会金賞・代表。以来、これまで29年間で22回、関西吹奏楽コンクールに出場している。

1993年に草野謙太郎氏が指揮者に就任。2004年に尾崎雅規氏が指揮者に就任、現在に至る。

現在、団員は京田辺市を中心とした周辺の地域在住者で、約60名のメンバーが集まり、地域のイベント・定期演奏会・吹奏楽コンクールを中心とした年間20回近くの演奏活動をしている。

### 常任指揮者：尾崎 雅規



京都府城陽市出身。洛南高等学校吹奏楽部にてクラリネットを始める。龍谷大学では学生指揮を務め、若林義人氏から指揮・吹奏楽指導全般を学ぶ。父から受け継いだ「継続は力なり」をモットーに、小学校や中学校、高等学校、大学、社会人の吹奏楽部や鼓笛隊など幅広く指導を行っている。

現在、精華町立東光小学校ウインドアンサンブル顧問。同クラブを率いて第22回から5年連続で日本管楽合奏コンテスト全国大会に出場し5年連続最優秀賞を受賞。全日本小学校バンドフェスティバルに関西代表として出場し第36回では銀賞、37回と38回で金賞を受賞。京都府小学校吹奏楽連盟理事長。

### 司会：文字 祐子



テレビ愛媛(愛媛放送株式会社〜フジテレビ系列)報道制作部アナウンサーとして活躍。大学在学中よりアナウンサーの勉強を修め、入局内定後は関西テレビにて研修を受ける。結婚後は京都に在住。コンサートを中心にアナウンス活動を再開し、現在ではコンサートはもちろん、CMナレーション録音、各種イベント、レセプション、パーティ、ブライダルの司会と様々なジャンルをこなす。